



平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月12日

上場会社名 株式会社フォトクリエイト 上場取引所 東
 コード番号 6075 URL http://www.photocreate.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 朋陸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 桑原 功 (TEL) 03-6812-7054
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	1,597	△0.5	△18	—	△16	—	△13	—
26年6月期第2四半期	1,605	—	62	—	52	—	31	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年6月期第2四半期	△10.05		—					
26年6月期第2四半期	26.08		23.57					

- (注) 1. 当社は第2四半期の業績開示を平成26年6月期より行っているため、平成26年6月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 平成27年6月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第2四半期	1,244	735	58.8
26年6月期	1,227	744	60.7

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 731百万円 26年6月期 744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,331	6.3	153	△17.8	148	△15.5	92	△13.6	70.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年6月期2Q	1,312,100株	26年6月期	1,312,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年6月期2Q	一株	26年6月期	一株
----------	----	--------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年6月期2Q	1,312,066株	26年6月期2Q	1,217,876株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は平成27年2月12日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（平成26年7月1日～平成26年12月31日）における我が国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和を背景に、企業収益や雇用情勢に改善が見られ、景気は緩やかながらも回復基調で推移いたしました。その一方で、円安による物価上昇や消費税増税に伴う消費マインドの落ち込みが影響し、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社は、「感動をカタチにしてすべての人へ」という経営理念のもと、インターネット写真サービス事業を着実に推進し、フォトクラウド事業の展開スピードの加速化に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,597,654千円（前年同四半期比0.5%減）、営業損失は18,825千円（前年同四半期は62,191千円の営業利益）、経常損失は16,734千円（前年同四半期は52,961千円の経常利益）、四半期純損失は13,182千円（前年同四半期は31,763千円の四半期純利益）となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。事業部門ごとの状況は、以下のとおりであります。

(インターネット写真サービス事業)

当第2四半期累計期間においては、「大阪マラソン2014」、「ちばアクアラインマラソン2014」や「第4回神戸マラソン」を始めとした各種イベントの撮影・販売を行いました。しかし、主にスポーツイベントにて写真を撮影・販売する「オールスポーツコミュニティ」において、撮影イベント数を絞り込んでいることに加えて、12月開催のイベントで売上の一部が次月以降に持ち越されました。

この結果、当事業部門の当第2四半期累計期間の売上高は、1,180,740千円（前年同四半期比5.2%減）となりました。

(フォトクラウド事業)

写真館・撮影事業者向けにもサービスを提供するWebサイト「スナップスナップ」において、株式会社ラボネットワークと平成26年6月に締結した業務提携に関する基本合意に基づく取り組みとして、双方の既存顧客への営業活動に注力し、写真館との取引拡大を進めております。

また、結婚式場にサービスを提供するWebサイト「グロリアーレ」において、全国各地の結婚式事業者及び婚礼写真会社との取引拡大を進めております。

この結果、当事業部門の当第2四半期累計期間の売上高は、383,173千円（前年同四半期比15.6%増）となりました。

(広告・マーケティング支援事業)

当事業部門におきましては、前期からの継続案件に加えて、大型マラソン大会におけるタイアップ案件を中心に新規クライアントの開拓に注力しました。

この結果、当事業部門の当第2四半期累計期間の売上高は、33,740千円（前年同四半期比18.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における流動資産は1,123,601千円となり、前事業年度末に比べて1,386千円減少しました。これは主に、売掛金が72,107千円増加した一方で、現金及び預金が79,584千円減少したことによるものです。また、固定資産は121,398千円となり、前事業年度末に比べて18,556千円増加しました。これは主に、有形固定資産が12,560千円増加したこと及び無形固定資産が10,635千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債は509,731千円となり、前事業年度末に比べて26,636千円増加しました。これは主に、買掛金が49,643千円増加した一方で、長期借入金が23,492千円減少したことによるものです。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産は735,267千円となり、前事業年度末に比べて9,466千円減少しました。これは、新株予約権が3,591千円増加した一方で、四半期純損失の計上により利益剰余金が13,182千円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、714,018千円となり、前事業年度末と比較して79,584千円減少しました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は26,736千円（前年同四半期比48,078千円減少）となりました。これは主に、仕入債務が49,643千円増加した一方で、売上債権が72,107千円増加したこと及び税引前四半期純損失が16,734千円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は33,943千円（前年同四半期比3,139千円増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出20,497千円及びソフトウェアの取得による支出13,661千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は20,911千円（前年同四半期は366,623千円の収入）となりました。これは主に、新株予約権の発行による収入が3,591千円となった一方で、長期借入金の返済による支出が23,492千円となったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年8月8日に公表いたしました平成27年6月期の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

追加情報

(四半期損益計算書関係)

当社では、開催されるイベントを主な収益源としており、イベント開催時期により売上高・営業費用に季節的な変動があります。通常、大型マラソンや運動会が開催される第2四半期会計期間(10月～12月)及び第3四半期会計期間(1月～3月)に売上高・営業利益が高く、第1四半期会計期間(7月～9月)及び第4四半期会計期間(4月～6月)の売上高・営業利益は低くなる傾向にあります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	593,602	514,018
売掛金	183,547	255,655
有価証券	300,000	300,000
貯蔵品	4,817	3,295
その他	43,019	50,632
流動資産合計	1,124,987	1,123,601
固定資産		
有形固定資産	44,892	57,453
無形固定資産	20,806	31,442
投資その他の資産	37,142	32,502
固定資産合計	102,841	121,398
資産合計	1,227,829	1,244,999
負債の部		
流動負債		
買掛金	182,806	232,450
1年内返済予定の長期借入金	50,784	50,784
未払法人税等	14,731	2,274
その他	83,801	97,824
流動負債合計	332,123	383,332
固定負債		
長期借入金	144,526	121,034
その他	6,445	5,365
固定負債合計	150,971	126,399
負債合計	483,094	509,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	242,275	242,338
資本剰余金	224,075	224,138
利益剰余金	278,382	265,200
株主資本合計	744,734	731,676
新株予約権	—	3,591
純資産合計	744,734	735,267
負債純資産合計	1,227,829	1,244,999

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,605,742	1,597,654
売上原価	941,521	996,079
売上総利益	664,221	601,574
販売費及び一般管理費	602,029	620,400
営業利益又は営業損失(△)	62,191	△18,825
営業外収益		
受取利息	64	197
為替差益	1,246	2,249
その他	307	662
営業外収益合計	1,618	3,109
営業外費用		
支払利息	967	969
株式交付費	2,444	48
株式公開費用	7,398	—
その他	39	—
営業外費用合計	10,849	1,018
経常利益又は経常損失(△)	52,961	△16,734
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	52,961	△16,734
法人税、住民税及び事業税	3,192	1,281
法人税等調整額	18,005	△4,833
法人税等合計	21,197	△3,552
四半期純利益又は四半期純損失(△)	31,763	△13,182

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	52,961	△16,734
減価償却費	11,002	12,060
受取利息及び受取配当金	△64	△197
支払利息	967	969
為替差損益(△は益)	△1,192	△2,006
売上債権の増減額(△は増加)	△113,588	△72,107
たな卸資産の増減額(△は増加)	△716	1,522
仕入債務の増減額(△は減少)	63,609	49,643
未払金の増減額(△は減少)	△52,299	5,837
その他	8,249	7,985
小計	△31,072	△13,027
利息及び配当金の受取額	64	197
利息の支払額	△988	△831
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△42,818	△13,074
営業活動によるキャッシュ・フロー	△74,814	△26,736
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,727	△20,497
無形固定資産の取得による支出	△3,168	△13,661
その他	92	215
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,804	△33,943
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△30,000	—
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△34,662	△23,492
リース債務の返済による支出	△1,213	△1,135
株式の発行による収入	232,499	125
新株予約権の発行による収入	—	3,591
財務活動によるキャッシュ・フロー	366,623	△20,911
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,192	2,006
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	262,197	△79,584
現金及び現金同等物の期首残高	523,446	793,602
現金及び現金同等物の四半期末残高	785,644	714,018

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、インターネット写真サービス並びにこれらに関連した事業の単一セグメントであることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年6月3日に株式会社ラボネットワーク（以下「ラボネットワーク」）との間で締結した、業務提携に関する基本合意書に基づき、具体的に詳細の検討を進めてまいりましたところ、両社が協業することによる相乗効果が見込まれることが確認できたことから、平成27年2月12日の取締役会においてラボネットワークとの業務提携を行う旨を決議し、同日付でラボネットワークと業務提携契約を締結いたしました。

1. 業務提携の目的

当社は、学校写真事業者に対して、当社が運営するWEBサイト「スナップスナップ」(URL：<http://snapsnap.jp/>、以下「スナップスナップ」)を利用して学校写真をインターネットで販売するシステムと当社が蓄積している学校写真の撮影・販売ノウハウを併せて提供するフォトクラウド事業を展開しており、1,700教育機関（平成26年12月31日現在）に導入されています。

このたびの業務提携先であるラボネットワークは、写真事業者を介して約18,000教育機関と取引があり、プロラボ事業の他、写真事業者に対して同社が運営するWebサイト「イベントフォトギャラリー」(URL：<https://www.satsuei.biz/>、以下「イベントフォトギャラリー」)を利用した写真のインターネット販売システムを提供しております。

学校写真におけるインターネット販売の比率が上昇を続けている環境の中、この両社の強みを活かし、学校写真のインターネット販売サービスを共同で展開していくために、本提携契約を締結することとなりました。

2. 業務提携の内容

本提携契約に基づき、当社は、学校写真事業者との取引窓口をラボネットワークに順次移管し、ラボネットワークに一本化いたします。

ラボネットワークは、学校写真事業者に提供しているインターネット販売のシステムをイベントフォトギャラリーからスナップスナップに順次移行し、スナップスナップに一本化いたします。

これにより、既に1,700教育機関に導入されているスナップスナップが、ラボネットワークと取引のある約18,000教育機関へと順次導入されることとなります。

3. 業務提携の相手先の概要

- (1) 名称 株式会社ラボネットワーク
- (2) 所在地 埼玉県川口市領家4-4-20
- (3) 代表者の役職・氏名 代表取締役社長 櫻井 均
- (4) 事業内容
 1. デザインアルバム出力
 2. 写真館向けプロプリント出力
 3. 学校・イベント写真出力
 4. 映像写真関連商品の卸売
- (5) 資本金 201百万円
- (6) 設立年月日 昭和60年3月
- (7) 大株主及び持株比率 株式会社キタムラ 100%